



阿品台中学校 学校だより

学校教育目標 「自信と誇りを持ち、たくましく生きる生徒の育成」

令和元年5月8日（水）No.3



命の大切さについて考える日

廿日市市の学校では、毎年5月8日を「命の大切さについて考える日」としています。本校でも、6時間目を全校道徳の時間としてみんなで一緒に考えました。

最初に校長が話した内容を少し紹介します。

1 その人の時間は、その人の命である。

時間は命である。命があるから自分の時は流れ続ける。立ち止まってあいさつをする。学校をきれいにしたいと思い掃除をする。誰かの役に立ちたいと思いボランティアをする。自分だけでなく一緒に高まっていこうと学びあう。阿品台中で大切にしていることは、誰かを想い自分の時間（＝命）を自分だけでなく相手、社会やみんなのために使っていることである。そんな周りを思いやる人がたくさんいる学校は安心して生活ができ、心地よい。

2 自分の命が輝く生き方とは

スキー事故で、脊髄損傷という大けがをされた越塚さんが「命の授業」と題した講演の中で、誰もが自分や相手の夢を叶える『ドリーム（夢）メーカー』として命を喜ばせる5つの誓いをたてられた。

- 口は、人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう
- 目は、人のよいところを見るために使おう
- 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 心は、人の痛みがわかるために使おう
- 手足は、人を助けるために使おう

3 いじめ からかい ちょっかい いじりは許されない。

入学式の式辞でも全校生徒にお願いしたことである。特に「いじり」は、いじられた人は、ムキになって怒ったりすれば空気の読めない人だと思われたくないので合わせて笑ってしまう。いつしか、キアラだと思われてしまう。おかしい 間違いだという感覚を鈍らせてはいけない。

4 友達 は、作るものではなく できるものである。

1人は寂しい。仲間が多い方がよい。しかし、自分勝手ではいけないが、自分を愛して大切にしてほしい。みんなを大切にしてくれている家族もいる。無理をして合わせ続けるのか、それとも信念を持って生きるかだと思います。その信念が正しければ、「あなたといれば安心してきて心地よい。」「一緒に頑張れる。元気になれる。」と思う人が自然とあなたの周りにはたくさんできる。1人じゃない。1人であることを恐れないでほしい。

5 あなたなりの魔法の言葉を見つけてほしい。

誰かの悪口やうわさを聞かされたときに、そう思っていないのに「そうじゃね」「そうよね」と返してしまうことがよくある。自分の目で確かめたわけでもないのに、そうだと信じ込んでしまう。

そんなとき、悪口やうわさを認めず、言った人も傷つせず、なんとなくばかばかしくなるようなあなたなりの生き方に通ずる魔法の言葉を見つけてほしいです。

「命の大切さについて考える日」のメッセージ

私は、みなさんが安心して学校に登校することができ、自信を持っていろんな活動に積極的に参加することを願っています。また、勉強が分からなくても、友だちに「教えて」と聞くことができたり、困っている友だちを見ると自分から声をかけたり、分かるように一緒に頑張ったりすることを願っています。

しかし今、安心して学校に登校することができない人がいるのも事実です。その人たちは、友だちとの人間関係で悩み、つらい思いをしているかもしれません。いじめられている人もいるかもしれません。勉強や部活、家庭のことなどで悩み、つらい思いをしているかもしれません。

今、つらい思いをしているあなたへ、伝えたいことがあります。

その思いを、親や先生に「迷惑や心配をかけちゃいけない」とたった一人で胸にしまいこんでいませんか。しかし、そのつらい思いや悩みは、一人で解決することができないことかもしれません。

あなたは決して一人ではありません。あなたのことを大切に思っている人が、あなたの周りにはたくさんいます。保護者の方、学校の先生、友だち、いろんな人があなたのことを大切に思っています。だから、どんなにつらいことがあっても、自分から命を絶ってはいけません。あなたを失って、悲しむ人がたくさんいます。その人は、一生その悲しみから逃れることはできません。かけがえのないあなたを、あなたの命を大切にしてください。勇気を持って、あなたが信頼している先生やまわりの人に相談してください。きっとあなたの話をしっかり聞いてくれるはずです。きっと助けてくれるはずです。

そして、周りにつらい思いをしている人がいると感じているあなたに、伝えたいことがあります。

感じているだけで何もしないのでは、つらい思いをしている人にとっては、何も変わりません。ちょっと勇気を出して、その人に、声をかけてください。話を聞いてあげてください。もし、声をかけることができれば、先生やまわりの大人に必ず相談してください。あなたの行動で、その人が元気になることができるかもしれません。大切な命の輝きを取り戻せるかもしれません。

最後に、面白半分に友達をからかったり、仲間はすれにしたりしているあなたに、伝えたいことがあります。あなたが、からかったり仲間はすれにしたりしている相手は、どんな表情をしていますか。笑っていますか。悲しんでいますか。仮にその人が「やめて」と言わなくても、心の奥ではどんな気持ちになっているのでしょうか。あなたのその何気ない一言や何気ない行動によって、その人は悩み・苦しみ、場合によっては命を失うことさえあるのです。今すぐ、そんな事はやめましょう。そして、自分の中にあるやさしい心に気づいてください。

学校は、安心できる場所、元気の出る場所だと、みんなに感じて欲しいと願っています。私は、そのために全力を尽くします。

みんなでそんな学校をつくっていきましょう。

平成30年5月8日

廿日市市教育委員会教育長 奥 典 道

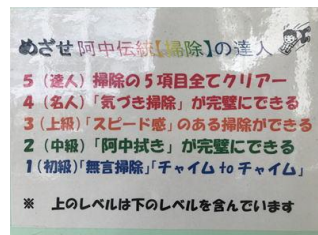


めざせ阿中伝統【掃除】の達人

右の掲載記事は、昨年度末に生徒会長の荏原君が書いたものです。阿中の掃除について4月17日（水）に全校朝会で確認しました。伝統はしっかりと受け継がれています。

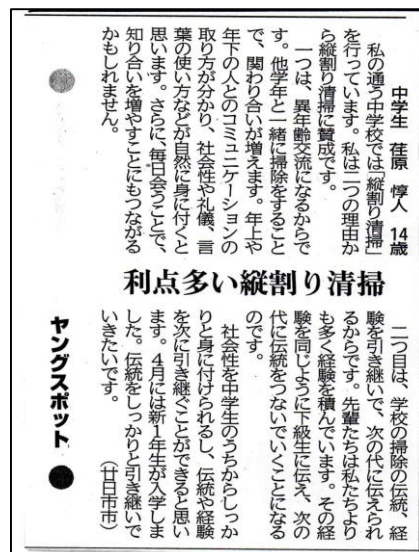
掃除の5箇条

- 「無言清掃」
- 「チャイムtoチャイム」
- 「阿中拭き」
- 「スピード感」
- 「気づき掃除」



この5つだけでなく、掃除の開始までに各自が分担を決めておき、開始と同時にとりかかったり、開始前と終了後のミーティングも大切にしています。

今後、小学校ともAC活動を通して、校区全体で掃除といえは阿品台と言われるようにさらなる高みをめざしてきます。



<4月26日(金)中国新聞朝刊 中国新聞社提供>

Spring Concert

4月23日（火）に、体育館前で吹奏楽部がスプリングコンサートを開きました。練習中だった他の部の生徒もたくさん聴きにきてくれました。演奏後、アンコールの声がわき上がり、アンコールにこたえて演奏してくれました。春のひとときをみんなで楽しみました。



緑化ボランティア

ゴールデンウィークの10連休に、嬉しい姿を発見しました。10日も休みが続けば、誰も花に水をやらないので、しおれて枯れてしまいます。しかし、連休明けも花はきれいに咲いてみんなを迎えてくれました。花にも寿命があります。花の命にも気づくことができ、大切にできる学校は誰にでもやさしい。美化委員長の3年西山航平君と野球部の生徒たちが、正門の植込みや校内の花壇に水やりボランティアをしていました。練習後の疲れた顔を見せず笑顔で協力する姿は、新緑の木々に負けないくらいキラキラと輝いていました。自ら考えて学校を支え行動できる人が阿中にはたくさんいます。ありがとうございました。



渡り廊下改修工事

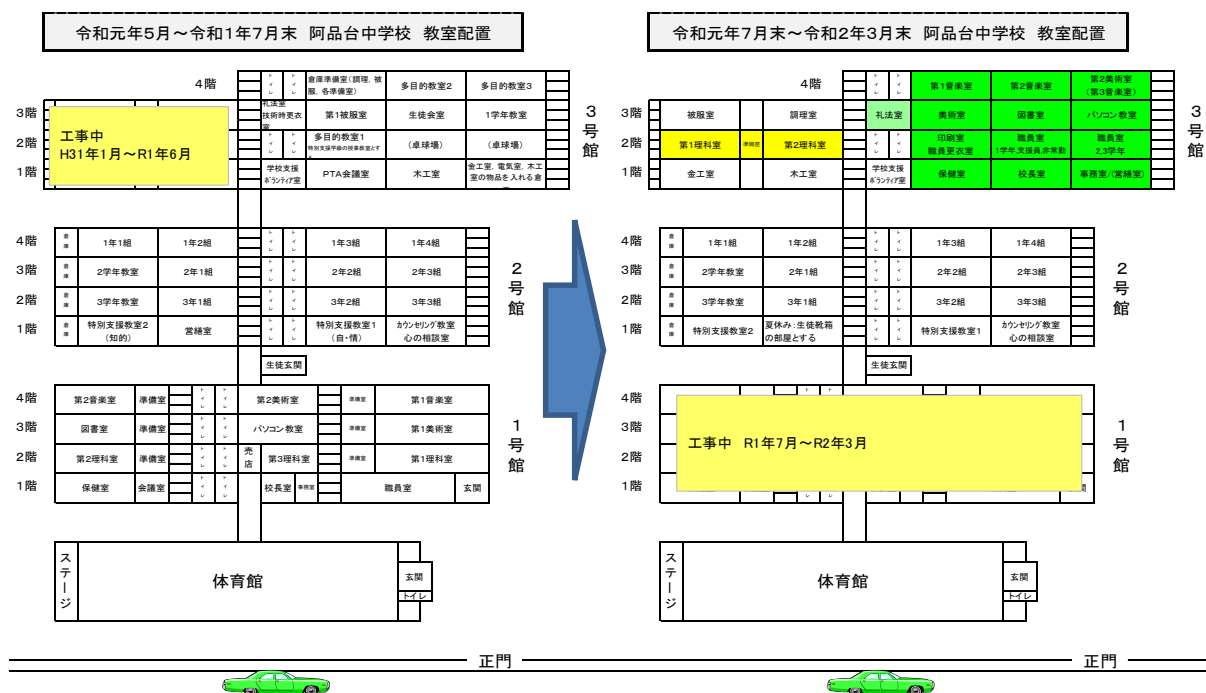
この10連休を利用して各棟を繋いでいる渡り廊下の改修が行われています。生徒たちの授業に迷惑がかわらないようにと、連休中にもかかわらず工事をしてくださっていました。本当にありがとうございます。



今後、2年をかけて段階的に工事が進められます。

現在3号館を改修しており、7月末から夏期休業中にかけて、1号館にある全ての教室や職員室等を3号館東側に移転し、夏期休業中から半年をかけて1号館の改修工事が行われる予定です。

工事の音やPTA会室を阿品台東小の教室の一室を借りるなど、生徒や保護者の皆様にも大変ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



一人で悩まないで...

学校は、必ず解決に向けて取り組みます。

・・・いじめの相談窓口・・・
柳川先生、松岡先生、八川教頭先生

・・・体罰・セクシャルハラスメント相談窓口・・・
八川教頭先生、秋本先生、柳川先生
永山先生、吉屋先生、田浦先生